

の審判の二等辺三角形の維持、これに尽きた。一瞬の打突を見逃すことなく涼しい視線で見、姿勢正しく体の正面を試合者に向け、常に試合者の側面に立って技を判断する、これらの事を常に正しい「位置取り」で正確に行う。言葉で言えばこれだけのことだが、試合場には選手・監督、観覧席には部員・保護者等の応援団、稽古といわず見取り稽古といわず見るからに鍛えられた人々の熱い視線が注がれる。この一種異様な雰囲気の中で、選手・観客ともに納得させる審判業務を遂行しなければならぬ。瞬時に移動する試合者に対応するため、すり足での細かな移動の連続で私の足はコワツテしまった。一試合終了したら三審判でその試合の審判内容を反省・検討する。時には審判主任から厳しい指導をいただく。また減多にないことではあるが、監督から異議申し立てがあり、審判主任が主審を呼び、事細かに厳しく確認されることもある。こんな身も細ることなどせずに天草で魚釣りをして薩摩焼酎でも飲んでおけば良かった、と一瞬思わないこともなかったが、終わってみると一剣道人として久しぶりに多くのことを学んだ充実感を得た。一日目の前夜は博多の街で木下先生と冷たい生ビールと美味しい焼き鳥で乾杯した。また翌夜は同志社大学の同輩・後輩たちと一

人とは何と三十二年振り！会い、それぞれが稽古を続けていることを喜び合い、私は玉龍旗大会記念の面手ぬぐいをお土産に上げたが非常に喜ばれ、その晩の飲み代を只にしてもらって恐縮した。持つべきは剣友である。ところで木下先生といえ、彼の剣道家の知り合いが多いことには驚かされる。九州各県から来た審判はほとんど知っているのではないかと思うほどしよつちゅうお互いに挨拶を交わしていた。

思えば四十年前、私自身高校三年生の時、握り飯とゆで卵を弁当に包み、はるばる鹿児島から汽車に乗ってこの大会に参加した。当時は九電記念体育館という所であり、福岡県を除き、予選を勝ち抜いた各県の八〜十チームのみが参加でき、弱小チームだった我が鶴丸高校の剣道部は「玉龍旗に参加する！」ことだけ

で喜びであり名譽であった。初日の奇跡の大躍進も虚しく二日目の四回戦で熊本の強豪九州学院(当時は鹿児島県外の九州にどんな高校があるのかも全然知らなかった)の次峰に大将まで抜かれたが、あの玉龍旗大会の経験がなかったら恐らく今日の自分はないかっただろう、と眼前で立ち合う高校剣士の真剣な姿を見ながら私の青年時代に思いを馳せた。天草に帰ってきてこの経験を生かして今後天草剣道連盟の審判力の向上に努めると同時に更に自らの審判と稽古の精進を期したいと思った。それにしても審判というものは何十回講習を受けても何百回裁いてもこれという満足なものではない奥の深いものですね。天草の皆さん、まず稽古、そして審判(講習会も)と共に頑張りましょう。早速本年度の審判講習会に多数の参加を期待します。

十月三連休の最後の月曜日、天草地区高段者講習会が天草市総合武道館に於いて約三十名の参加者により行われた。講師の先生は西山弘範士八段、尾方正照教士八段、田邊秀昭教士八段といずれも天草にご縁のある先生方を迎え大変有意義な講習会に参加させていただきました。

実は私は前日の天草ハイヤ踊りに参加し、踊り疲れのせいか？少し遅れて武道館に行きました。せつかくの三連休最後の日、たまには親孝行でもして映画でも見に行き、点数稼ぎをしたかったです。が、そうはいかず渋々行ったというのが本音です。午前中は日本剣道形の小太刀による三本を寺田先生と形を打ったのですが、久しぶりということもあり、二人してギクシヤ

クとしながらも尾方先生よりも参考になるご指導のおかげでどうやら「新しい日本剣道形？」を行うことなく無事に終えることができました。真面目な話、形を打つ時の呼吸法とか剣先の位置とか非常に勉強になりました。午後からは昇段審査の模擬審査を出席者全員で行い、一組ごとに丁寧なアドバイスを受けました。私も来年七段審査を受けようと思っておりますが、いざ自分の順番が来たときはいつい日頃のせつかけ剣道が顔を出し、終わってみれば、たぶん打ちすぎを注意されるだろうなと思っていたら、見事に予感的中し、西山範士から真つ先に呼び出され注意を受けました。しかし、注意を受けながらも的確なアドバイスを受け、(西山先生はほめ上手で人をその気にさせ

天草地区高段者講習会に参加して

有明町 平田 光二

三地区親善 剣道大会優勝

平成20年8月24日(日)地元天草市総合武道館で開催されました。地元応援団の盛んな声援にこたえて、学生部、一般部のとも優秀な成績で見事総合優勝を飾りました。選手、役員、応援の皆様大変ご苦勞様でした。



組ごとに丁寧なアドバイスを受けました。私も来年七段審査を受けようと思っておりますが、いざ自分の順番が来たときはいつい日頃のせつかけ剣道が顔を出し、終わってみれば、たぶん打ちすぎを注意されるだろうなと思っていたら、見事に予感的中し、西山範士から真つ先に呼び出され注意を受けました。しかし、注意を受けながらも的確なアドバイスを受け、(西山先生はほめ上手で人をその気にさせ

